

地域の魅力発信に順風

“奥南部”漆物語が日本遺産に認定

文化庁は6月19日、二戸市と本市が申請していた「奥南部漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～」を令和2年度日本遺産に認定しました。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じてわが国の文化、伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備、活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

2年度は全国で69件の申請があり、21件が認定。今回を含め、6年間で104件が日本遺産に認められています。本県では2件目で、県内自治体主体の申請としては初の日本遺産認定となります。

【認定されたストーリーの概要】

日本民俗学の祖、柳田國男は著書で安比川流域を“奥南部”と称しています。安比川の上流域には木地師、中流域には塗師、下流域には漆掻きが多く住み、地域で一体的な漆器製作をしてきました。生漆や漆工芸品の特産地としての誇りを胸に、漆産業を現在まで守り続けています。“奥南部”安比川流域の人々が漆を大切に、そして誇りに思い、伝統技術と漆文化をつないできた物語です。

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1203



パネルを掲げる田村正彦市長(左)と藤原淳二戸市長



協力して外来植物を抜き取り、笑みを浮かべる生徒

貴重な資源いつまでも

八幡平外来植物駆除キャンペーン

八幡平外来植物駆除キャンペーンは7月10日、見返峠付近で行われ、参加者は外来植物を駆除し、高山植物の自然植生保護に努めました。

松尾中の全校生徒や行政機関の関係者ら約170人が参加。見返峠駐車場や八幡平山頂散策路に咲くセイヨウタンポポやフランスギクを見つけると、根から丁寧に取り除きました。同校3年の麦田彩藍さんは「郷土の自然に誇りを持ち、これからも自然を大切にする活動に積極的に参加していきたい」と力を込めました。

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

障がい者手帳をお持ちの方へ **利用者さん大募集!**

相談・見学・体験 随時受付中!

業務内容 ●新づくり ●カブトムシ・クワガタ採り
●ベッドメイキング ●山菜・キノコ採り

他にも…田んぼ・木こり・畑仕事、家庭内清掃、草刈り、雪かき etc

体調に合わせて時間も調整できます。 **無料送迎します!**

障がい者就労支援施設 **ハルハル農林** 八幡平市柏台3丁目122
B型事業所 ☎0195-78-8833

お気軽に
ご相談ください

薬のプロフェッショナルが
あなたのご相談を承ります

漢方のあさひ薬局 西根中学校前店

公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師

薬剤師 齋藤貴将

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311



クロスカントリー用のスキー板12組とブーツ10足を寄贈

地元スポーツを後押し

安代鉄工所が安代小にスキーを寄贈

(株)安代鉄工所(齋藤達也代表取締役)は7月8日、(株)岩手銀行が取り扱う「みらい応援私募債」を活用し、安代小にスキー用具を寄贈しました。

安代鉄工所が私募債を発行した際に岩手銀行が受け取った手数料の一部に、今回は同所からの寄付を加えて寄贈。子どもたちの教育環境の整備と地域への社会貢献に取り組んでいます。元木詩夏さん(6年)は児童を代表し「たくさん練習して、昨年より良い成績を出せるように頑張ります」と誓いました。

世界で活躍する人材を

ハロウスクール安比校の新築工事起工式

英国の名門私立学校「ハロウスクール」と(株)岩手ホテルアンドリゾート(黒澤洋史社長)が提携して建設する「ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン」の起工式は6月27日、現地で行われ、関係者約80人が工事の安全を願いました。

JR安比高原駅付近の約10に校舎や寮など全8棟を設けて令和4年8月に開校予定。計25学級、総定員540人(開校初年度は180人程度の受け入れ)となる生徒は、アジアや欧州を中心に世界中から募ります。



新築工事の安全を祈願する黒澤社長

オール八幡平の新商品

スマートファームがふるさと納税返礼品初出荷

(株)八幡平スマートファーム(兒玉則浩社長)は7月9日、高石野団地熱水ハウスで栽培しているバジルを使った新商品「温泉バジル薫るジュシーソーセージ」を市のふるさと納税返礼品として初めて出荷しました。

製品には(有)コマクサファームの杜仲茶ポークを使用し、(株)肉の横沢が商品化。今後は、宿泊施設での提供やギフトとしても商品展開される予定です。

兒玉社長は「これからも安全で安定したバジルを提供していきたい」と意気込みを示しました。



(左から)肉の横沢本田哲也専務、田村正彦市長、兒玉社長

登山者の列今年はできず

岩手山で山開き安全祈願

岩手山の山開き安全祈願は7月1日、焼走り登山口で行われ、市と市観光協会、市山岳協会の代表者が出席し、入山者の安全などを願いました。

例年行われている市山岳協会による登山や滝沢市・雫石町とのピッケル交換もなく寂しい開山となりました。盛岡から訪れた女性グループは「天候には恵まれなかったけれど、今年もきれいな高山植物を見られてうれしい。感染症に気を付けながら楽しみたい」と満喫していました。



シラネアオイが静かに登山者を迎えました

遊休化防止で有効利用を

松尾地区で農地パトロールと相談会

市農業委員会松尾地区調査会(立柳優地区長)は7月15日、遊休農地の未然防止や実態把握などを目的に、農地相談と農地パトロールを行いました。

委員11人は、午前と午後に分かれて松尾地区10カ所の農地を周り、昼は松っちゃん市場で農地相談を実施。農地の有効利用のため精力的に活動しました。

立柳地区長は「使っていない農地があり困っている場合は、積極的に農業委員や推進委員に相談してほしい」と遊休農地の解消に意気込みます。



図面を見ながら現地確認する委員

夏の暑さに備え衣替え

サラダファームでアルパカの毛刈り

(株)サラダファームは6月26日、ガーデンパーク内園舎で飼育するアルパカ5頭のうち、1頭の毛刈りをしました。

音に驚くことがあるため、バリカンではなく、はさみを使って優しく丁寧に作業。飼育員の木村憲司さんは「今しか見られないアルパカの姿を見に来て、楽しんでもらいたい」と笑みを浮かべました。

主にアンデス地方に生息するアルパカは、湿度と気温が高いのが苦手なため、毎年この時期に毛刈りをします。



ナナちゃんの毛刈りをアルくんが見守ります

すなっぷギャラリー



新型コロナの影響で5月から延期されていた市民健康マラソンを開催(7月5日、安代総合支所周辺)



佐比内公民館が国道282号線の道路改良工事に伴い、移転新築(7月11日、同公民館落成式)



焼走りコースのツルハシ手前に群生する「高山植物の女王」コマクサ(7月1日、岩手山)



市建設協同組合から新型コロナウイルス対策として現金100万円が寄付されました(7月17日、市役所)



勝又安正さん(左)と渡辺義光さんから市役所庁舎に飾る花が寄贈されました(7月9日、市役所)